

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/01/30号

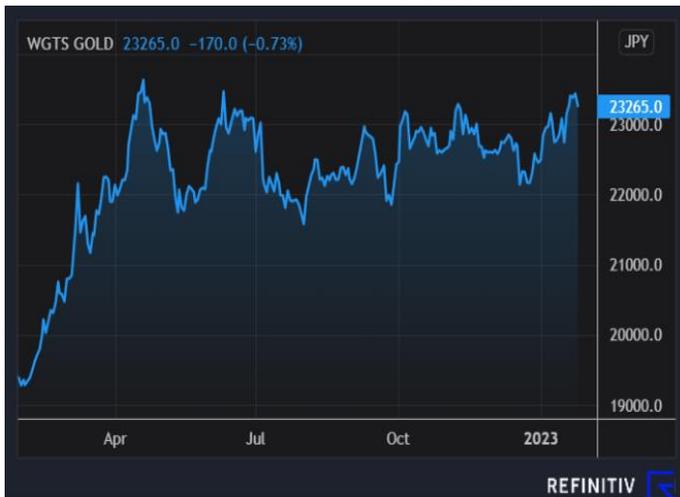
一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

ゴールド一時9カ月ぶりの高値1949ドル

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



前週のゴールドは重要な節目とみられている1950ドル直前まで上昇しましたが、やはり節目だけあって、そこには相当の利食い売りオーダーも並んでいるようです。1950ドルを超えることはできずにはじき返された形となり、その後は利食いによって押し下げられて1920ドル前後まで2度下落、しかしそこでは逆にバーゲンハンティングの買いに支えられました。結局わずかなですが、週初よりも上がって終わり、これで六週間連続の上昇となり、これは2020年夏、ゴールドが初めて2000ドルを超えたとき以来の連続上昇となりました。9カ月ぶりの高値となった1949ドルは年初来から6%の上昇となり、これもまた2012年以来の年初の上昇となっています。さすがにこれだけの上げを続けるといつ利食い売りが出てもおかしくない状況です。投資家が最も注目しているのは今週2月1日のFOMC後の政策金利発表とそれに続くパウエル議長の会見です。現在CME FedWatchでは99.2%の確立で金利上げ幅は0.25%とみています。とりあえず0.25%幅はマーケットでは完全に織り込み済みです。それだけにFRBがよりタカ派的な0.5%の利上げを行えばマーケットは大きく反応、株、ゴールドは急落となるでしょう。しかしその可能性はこのFed Watchの結果のごとく非常に小さなものでしょう。問題はそのあとの議長会見で、パウエル議長がどれほどの「タカ派的」であるか、ということによってマーケットは大きく動く可能性があるでしょう。ゴールドは年初から大きく上昇しています。Comexの投資家ポジションも11月30日の87トンロングから現在331トンロングと250トン近くの投資家の買いが入っています。これだけのロングが積みあがっていること、そして1950ドルで頭を打ったことから、FRBがタカ派的態度をより鮮明になったときには利食い売りが出やすいと考えるので注意が必要です。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

「金銀比価」

ゴールドの価格をシルバーで割ったものを「金銀比価（Gold Silver Ratio : GSR）」と呼び、古くからその関係は注目されてきました。そもそもゴールドもシルバーも通貨の原型であったことを考えると当然であると言えます。現在の金銀比価は82対1つまりゴールドはシルバーの82倍、シルバーはゴールドの82分の1の価値ということになります。この金銀比価にはいくらであるべきであるという理論値はありません。ただ、おそらく古代からその通貨としての交換はなされており、時代を経てその交換率も変化してきたはずで、江戸時代末期には西欧では金銀比価は16対1でしたが、日本では5対1とシルバーの価値は圧倒的に高かったため、海外商人はシルバーを植民地でシルバーの生産国であった南米から日本に持ち込みそれをゴールドと交換して持って帰るといった「裁定取引」が盛んにおこなわれ、それにより日本のゴールドが大量に海外に流出しました。ここ数十年の平均値はだいたい55~60対1です。現在の80を超える比価はシルバーがゴールドに対して割安に評価されていると言えます。

(金銀比価過去20年の流れ)



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

